



選ばれる側として、立つ

山田 勘一

更生保護法人ウィズ広島 理事長

私たちが別館女性居室棟建設の必要性に気づいて4年、今年はその夢が実現します。これも多くの支援者の方々の賜物と感謝申し上げます。それにしても、別館女性居室棟の実施設設計図に至るまで、どのような住まいが利用者のニーズに応えるか、また身近にケアできるものになるか、最後まで迷いに迷いました。辿り着いたのが、人と交わることがつらい利用者の居場所として、少し離れたところに生活できる居室をつくること、その近くに別館スタッフステーションを置くこと、広い食堂兼談話室、3階に1~2人が休息し、本を読むデッキを設けること、そんな夢が実現することを喜んでいきます。

ある日、長年、支援ボランティアの森山博行さんが「最近のコラージュは、絵と絵の間が離れて淡白になった」と嘆かれました。「ええ…」。相槌をうちながら手元（右掲）の

コラージュ作品「花」（78歳、女性）に目をやりました。台紙の中央に貼られた白い花は作者自身でしょう。でも周りの花々は、これまでも、これからも私と離れて寂しい印象です。作者の孤独な気持ちが表れています。

もう一枚（左掲）は男性76歳の作品です。作った直後、自分でも何と名付けたらよいか

迷ったのでしょうか。無題です。でも過去を表す台紙の左上は、知ってか知らないでか、フランスの高級宝飾ブランド「Cartier」（カルティエ）の横文字、その下に何か選んで貼り付けた、糊の跡があります。貼り付けた後、気持ちが変わって剥いだと思えます。そのわけを担当職員は、犯行地である地元の会合に行き、本件犯行を謝っている、「すっきりしたのでしょ」といいます。中央上には若い男性（在りし日の西城秀樹で

す）がコーヒー片手にくつろいでいます。今の自分の、ほっとした気持ちが表れています。だがその足元、「未来」を表す右にもたくさんの時計が貼り付けられています。「現在」「未来」に貼り付けられた数々の時計。時計が意味するものは「時間」。針が刻む「時」は「私



コラージュ作品「花」

に関係なく進み、その現実には時に残酷です。しかしその現実を受け入れるしかない自分…。退所後、地元に戻ってもまだ残る問題山積。作者の無力感が感じられます。

私たちが日常感じるのは、健気にふるまっても孤独と退所後の不安が見え隠れする利用者のところです。その人たちを想い、私たちは別館女性居室棟の居住空間をデザインしました。それでも更生保護「施設」は規則で管理「する」、「される」関係が生まれるところです。それに気づいて、長い施設生活で低下する自尊心と深い孤独に向き合いたいと思います。受け入れを選んだ側が、こんどは身近に相談する人として利用者を選ばれる側に立つことを自覚し、彼らをいかに退所後の地域につなぐか、援助者として問われているように思います。



コラージュ作品「無題」

U字回復をめざす、受入れ実人員

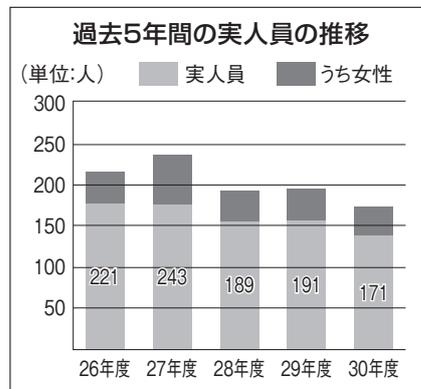
2018 (平成30) 年度 (2018.4~2019.3) 事業成績

実人員

2018 (平成30) 年度中の利用者実人員は、前年度に比べ20人減の171人、うち女性は37人でした。しかしながら、施設利用率は前年度を4.8ポイント上回る88.3%でした。

2018年度の实人員の内訳は、救護・援護利用者141人 (うち女性36人)、更生緊急保護利用者30人 (同1人) でした。更生緊急保護利用者は、前年度に比べ10人増でした。

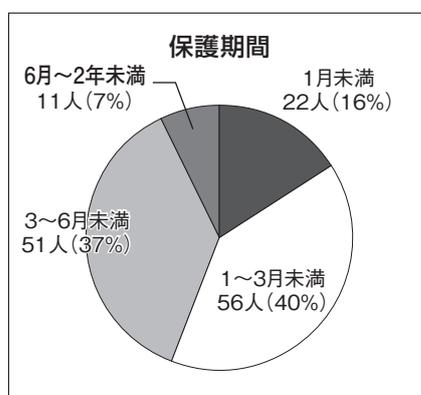
区分	26年	27年	28年	29年	30年
実人員	221	243	189	191	171
うち女性	46	56	42	43	37



保護期間

利用した (保護) 期間は、1月未満が22人 (うち女性2人)、1月から3月未満が56人 (同11人)、3月から6月未満が51人 (同14人)、6月から2年未満が11人 (同2人) でした。前年度と比べ特筆すべきは、1月以上3月未満の利用者が31.7%、26人減り、3月以上6月未満が30.8%、12人増えたことです。

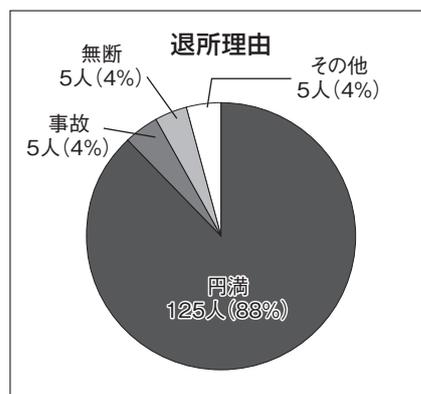
区分	1月未満	1~3月未満	3~6月未満	6月~2年未満	合計
実人員	22	56	51	11	140
うち女性	2	11	14	2	29



退所理由

退所者のうち、円満退所者が125人 (うち女性27人)、事故退所者5人 (同2人)、無断退所者5人 (同0人)、その他5人 (同0人) でした。退所者140人 (同29人) 中、男性は88.3%、98人が、女性は93.1%、27人が円満退所しています。事故退所は6人減り5人でしたが、無断退所者は4人増えました。

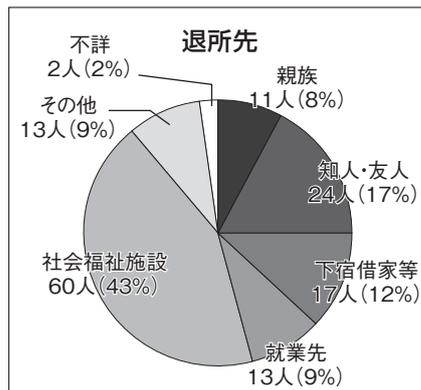
区分	円満	事故	無断	その他	合計
退所人員	125	5	5	5	140
うち女性	27	2	0	0	29



退所先

退所したところは、親族11人 (うち女性4人)、知人・友人24人 (同5人)、下宿・借家等17人 (同2人)、就業先13人 (同1人)、社会福祉施設60人 (同15人:生活保護を含む)、その他13人 (同2人)、不詳2人 (同0) でした。「親族」のもとへの退所者が前年度に比べ50%、11人 (同9名) が減り、「知人・友人」のもとにも2人 (同1人) 減りました。「就業先」に退所した人も前年度に比べ27.8%、5人 (同1人) 減っています。社会福祉施設など生活保護を受給して退所した人が、前年度に比べ1人減り60人 (同15人)、この人数は全体の42.9%を占め、前年同様福祉に頼る利用者が依然多いといえます。

区分	親族	知人・友人	下宿借家等	就業先	社会福祉施設	その他	不詳	合計
実人員	11	24	17	13	60	13	2	140
うち女性	4	5	2	1	15	2	0	29



委託費収入に依存しない、経営努力

2018 (平成30) 年度 連結収支決算 (一般会計と特別会計の合算) 報告

収入 1億2,440万円 支出 1億2,425万円 繰越金 15万円

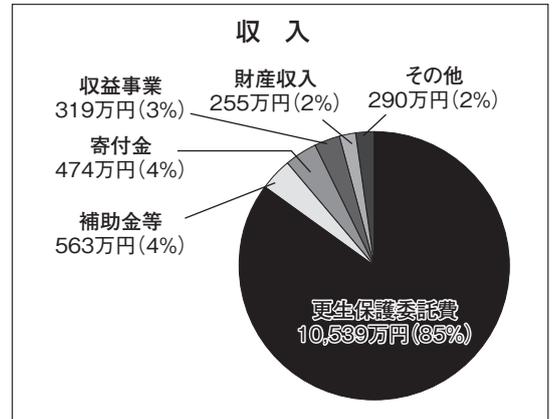
連結収支の状況は、前年度に比べ、収入で9.0%、1,024万円、支出で9.1%、1,033万円増えました。

□ 収 入

前年度に比べ実人員は20人減りましたが、高齢者、薬物使用障害のある者などの受入れ増加により宿泊保護日数が伸びたこと及び委託費単価が改定されたことにより前年度に比べ更生保護委託費収入が12.3%、1,155万円増えました。補助金等収入で前年度に比べ、20.2%、95万円増収となりました。

収益事業収入、任意被保護者負担金収入、寄付金収入、財産収入、特別会計繰入金収入は前年度と比べ、減収となっています。

なお、太陽光発電収入は62万円、駐車場収入257万円と合わせて収益事業収入は319万円でした。



単位：万円

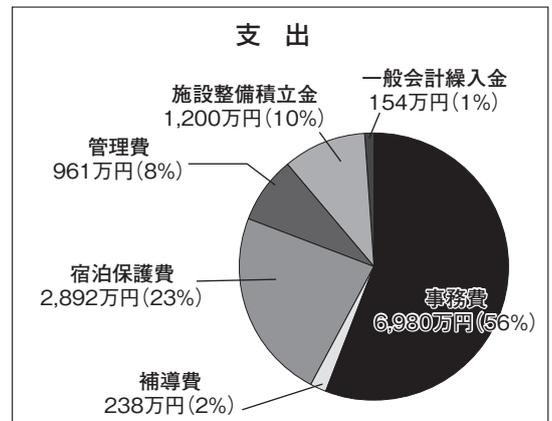
科目	更生保護委託費	補助金等	寄付金	収益事業	財産収入	その他	合計
金額	10,539	563	474	319	255	290	12,440

- * 更生保護委託費 国からの委託費収入
- * 寄付金 篤志者・賛助会・役員等からの寄付
- * 補助金等 地方公共団体・小規模修繕助成金等

- * 収益事業 駐車場賃貸料・太陽光発電電力供給収入
- * 財産収入 利息・配当収入
- * その他 任意被保護者負担金・特別会計繰入金・雑収入等

□ 支 出

支出は、前年度に比べ、9.1%、1,033万円増えました。事務費、補導費、宿泊保護費、管理費は共に増えています。平成30年12月に補導職員1名を採用したことによる給与、福利厚生費が増え、事務費は、前年度と比べ170万円、2.5%の増となりました。補導費は、前年度と比べ35万円の増でした。宿泊保護費は、食糧費が52万円、5%増えたこともあり、宿泊保護費としては、前年度と比べ144万円、5.2%の増となりました。管理費は、会議費、福利厚生費等が増え、前年度と比べ38万円増えました。



単位：万円

科目	事務費	補導費	宿泊保護費	管理費	施設整備積立金	一般会計繰入金	合計
金額	6,980	238	2,892	961	1,200	154	12,425

- * 事務費 給料手当・施設補修費・福利厚生費・役員費等
- * 補導費 補導連絡費・通信運搬費・補導研究費等
- * 宿泊保護費 食料費・水道光熱費・消耗品費等

- * 管理費 給料手当・租税公課・福利厚生費等
- * 施設整備積立金 女性居室棟増築積立金
- * 一般会計繰入金 収益事業収入からの繰入金



利用者、退所者息抜きの場、ウィズカフェ。地域のボランティアによるお点前で話しがはずむ。



国連アジア極東犯罪防止研修所 (通称 アジ研) 国際高官セミナー参加者にあいさつをする嘉屋常務理事。



テーブルの中央に山積みしている雑誌から気になる絵や写真を切り抜いて手元の台紙に貼り付けて自分の思いを表現するコラージュ作成会。

動く、別館女性居室棟建設事業

平成28年6月に女性居室棟増設検討委員会を立ち上げ、3年が経とうとしています。この間に関係機関・団体の皆様のご指導、ご支援をいただき、増設事業による経営面・処遇面などさまざまな角度から検討を加えてきました。最近の同建設に向けた動きについてお知らせします。

平成30年	9月25日	更生保護事業振興財団に対し、平成31年度更生保護施設大規模整備費助成金交付要望書を提出。	
	11月12日	近隣住民の方に、建物の概要説明、近隣住民の視線に配慮した窓づくり、防音、防火に配慮しているなど説明。	
同 31年	3月11日	同交付内定通知書を受領。	
	3月27日	ウィズ広島理事会開催。更生保護事業振興財団に対し、正式に同更生保護施設整備費助成申請を行うことについて理事会の承認を得る。	
	4月22日	同交付決定通知書を受領。	
	4月23日	実施設計管理業者と契約を締結。	
	4月26日	中高層建築物届出に伴う建設予定看板を設置。あわせ、近隣15軒に、建設予定等について説明。	
令和元年	6月4日	一般競争入札の工事広告を実施。	補導主任 藤原 一喜

別館女性居室棟は西側駐車場跡地に鉄筋コンクリート3階建てとなります。



1階

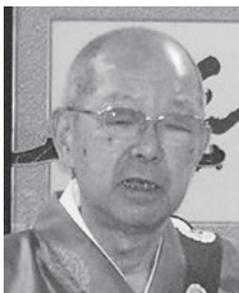
1階は、工事完了後に賃貸駐車場（収益事業）として3～4台使用。

人事異動

(退任) 平成30年9月2日、糸川幸良評議員が逝去されました。氏は、西地区保護司会保護司のかたわら、ウィズ広島評議員として多大な貢献をいただきました。ご冥福をお祈りいたします。

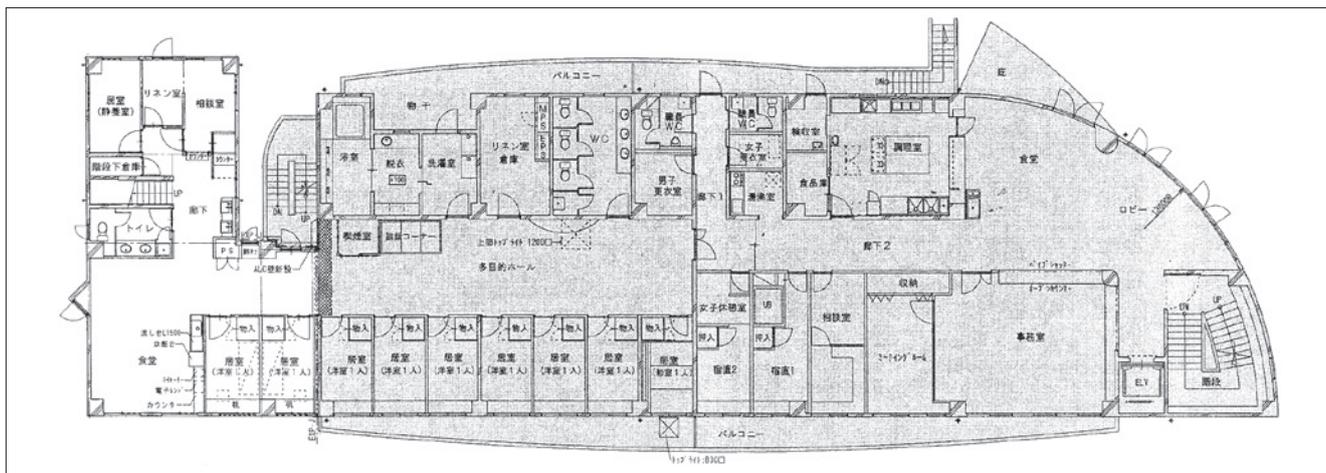
(新任) 令和元年5月21日、加用雅愛（かようまさよし）氏が評議員に就任されました。

追悼

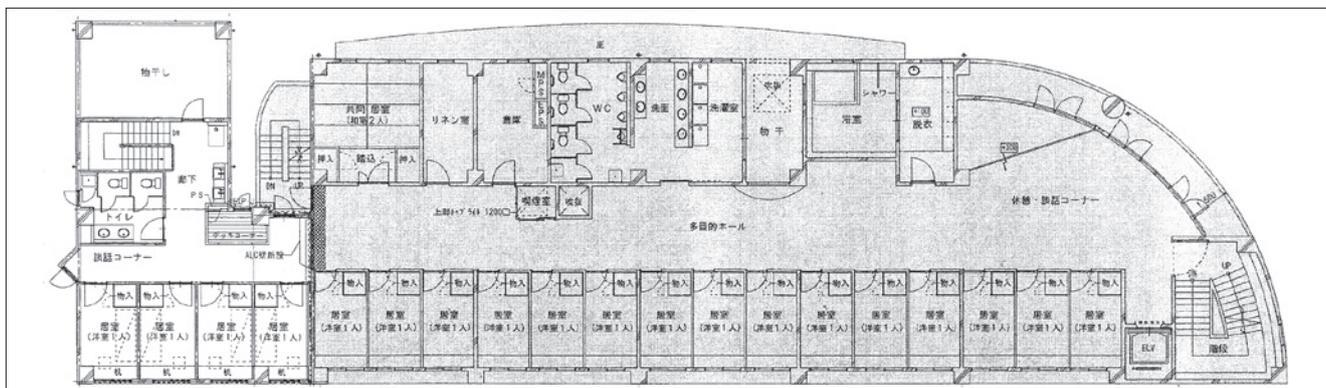


ウィズ広島チャプレン（専属教誨ボランティア）として多大な貢献をいただきました、浄宝寺前任職諏訪了我さんが、本年3月11日に逝去されました。諏訪了我さんとウィズ広島の出会いは平成9年、無期受刑していた78歳男性が仮釈放されウィズ広島に帰ってきたことに始まります。当時、彼は受刑したとき諏訪教誨師から「出所後、被害者の供養がしたいと思えば、連絡しなさい」と言われたといいます。彼の申し出を諏訪さんに電話しますと、快諾され氏の自坊に行き、その願いがかなえられました。これが氏とウィズ広島との機縁となり、今日まで続くウィズ広島供養会が始まりました。諏訪了我さんのご逝去を悼み、心からご冥福をお祈りいたします。

2階 2階は居室2部屋、相談カウンターを配置したスタッフステーション、体調不良、対人トラブルに陥った利用者のため静養室兼居室及びリネン室を設置します。そのほか女性専用食堂を2階に設けることなど新設します。



3階 3階は居室4部屋と談話コーナー、ウッドデッキ物干場、洗濯場を設置します。物干場は、近隣の居室内がのぞけないよう配慮します。



支援の現場から

最近の悩み

今年の3月から5月の間に、施設利用者が3名（男性2人・女性1人）の食品を万引きして現行犯逮捕された。いずれも高齢者（70歳以上）であった。この再犯はショックだった。

平成21年より高齢者や障害者の受け入れを積極的に行うようになり、従来の就労、自立という感覚では対応できないようになった。当初は年間数件で先輩職員の経験や協力に対応していたが、この数年で状況が変わり、職員一人で数名の高齢者や障害のある利用者の対応をすることが日常になった。保護施設から支援施設に変化したのである。

そこで問題になってきたのが、日中

の施設での生活のあり方。これまでは就労して自立することが目的であったが、高齢者等入所者が増えている中で、本人に就労意思があっても、年齢的に落とされるケースもあり、日中することがない。入所当初は金銭的に余裕があっても、一ヶ月もする頃にはお金もなくなる。最初はご飯を食べ、テレビを見て、散歩して寝る生活を楽しむが、徐々に飽きてくる。贅沢という意見もあるかもしれないが、ある意味、刑務所より辛い単調な生活に思える。刑務所内では作業内容に違いがあるにしても作業が行える。私たちの施設でもボランティアワークという制度を設け、施設内外の清掃を利用者に頼

むことがあっても、毎日草が生えるわけでもなく、1日かけてすることもできないため時間をもてあましてしまう。そのためウイズカフェを創設して、退屈な午後のひとときを地域ボランティアの支援で実施するなどしている。「すること」がない生活に無気力となる。早めの地域定着が課題だ。

もう一つの悩みは、仮釈放期間が長いこと。高齢者の平均は90日以上。60歳以下は平均90日程度。不規則の就労で自立資金を貯めることもできないし、日々所持金を減らすことになるなど様々な問題に、今日も悩みながら日々利用者と接している。

補導主任 竹岡 靖宏

みなさまから託されたご寄付 (2019 (平成31・

1月

匿名：ペン型ふりかけ14本、匿名：チューリップ2鉢、東広島地区更生保護女性会：大根4本・米8kg等野菜・タオル57枚・マスク20枚等日用品、土井壽美子：抹茶・菓子（ウィズカフェ用）、広島佐伯地区更生保護女性会：シフォンケーキ3ホール（写真①）、冨田中剛産業：タオル84枚・マスク250枚・カレンダー 54点、櫛ピックアップ：ハンガー 93本、匿名：女性衣類65点、糸川康子：現金50,000円

2月

藤原薩子：男性衣類12点・マフラー 1点、匿名：本25冊、中島和雄：生チョコ1. 93kg、匿名：男女衣類15点、広島南ロータリークラブ：現金20,000円、平口さとみ：醤油1本、大野宣江：玄米30kg、匿名：菓子各種、木本正志：アイスキャンディー 48本、山本隆照：男女衣類40点・鞆2点、中地区更生保護女性会：給食材料（写真②）、土井壽美子：抹

茶（ウィズカフェ用）、佐藤丈倫：菓子（ウィズカフェ用）、匿名：男女衣類20点、廿日市地区大野支部更生保護女性会：給食材料（写真③）現金14,400円・作業服上下19点・タオル26枚他・男女下着43点

3月

広島県更生保護女性連盟：ひな祭り交流会（写真④）、平口さとみ：クッキー 14袋・ほうれん草3袋・抹茶1缶（ウィズカフェ用）・いちご4パック（写真⑤）、匿名：単行本13

みなさまに支えられる、



① 広島佐伯地区更生保護女性会の皆さんによる給食活動。メニュー：炊き込みご飯、チキンのピカタ、水菜とツナのサラダ、ほうれん草の胡麻和え、吸い物、シフォンケーキ



② 中地区更生保護女性会皆さんの給食活動。メニュー：ロールキャベツ、マカロニサラダ、豚汁、漬物、バナナ



③ 廿日市更生保護女性会大野支部皆さんの季節限定メニュー給食活動。メニュー：カキ飯、カキフライ、大根なます、味噌汁



④ ひな祭り交流会で挨拶する職建広島県更生保護女性連盟会長。料理は同県更女連盟役員の方々の手作り。メニュー：桜寿司、吸い物、刺身、若鶏の照り焼き、桜きんとん、サラダ、ひな菓子



⑤ 平口さとみさんから愛の定期便。クッキー14袋、ほうれん草3袋、いちご4パック等をいただきました。



⑥ 東地区更生保護女性会の皆さんメニュー給食活動。メニュー：五目ご飯、サーモンのバター焼き、春の豚シャブサラダ、小松菜となめたけの和え物、味噌汁、デザート（いちご、パイナップル）、漬け物

令和元)年1月1日から5月31日)は、次のとおりです。

冊、匿名：韓国のり63袋・菓子、河井基美代：男性衣類7点、佐藤丈倫：半生菓子45点、東地区更生保護女性会：給食材料 (写真⑥)、土井壽美子：抹茶・菓子 (ウィズカフェ用)

4月

匿名：たまり漬2kg、山田勘一：現金30,000円、匿名：現金10,000円、佐藤丈倫：茶釜1点・菓子 (ウィズカフェ用)、匿名：単行本4冊、南地区更生保護女性会：給食材料 (写真⑦)、匿名：韓国のり48袋・ス

ティックコーヒー 114本、諏訪瑠璃子：男性下着17点・靴下24足、森脇治義：竹の子7本 (写真⑧)、平口さとみ：生卵30個、土井壽美子：抹茶・菓子 (ウィズカフェ用)

5月

広島県更生保護女性連盟：端午の節句交流会 (写真⑨)、畠山昭雄：現金10,000円、嘉屋進：現金10,000円、藤島陽子：書籍4冊、藤原薩子：夏みかん25個、一般財団法人多山報恩会：現金150

万円 (写真⑩)、匿名：菓子、西地区更生保護女性会：給食材料 (写真⑪)、諏訪瑠璃子：衣類17点・肌着22点、浄宝寺：現金15,000円、大野宣江：玄米30kg、山本隆照：衣類9点、匿名：白米60kg、林千秋：ふき800g、土井壽美子：抹茶・菓子 (ウィズカフェ用)、広島県保護司会連合会：目録 (300万円寄付) (写真⑫)

ウィズ広島 利用者



7 南地区更生保護女性会給食活動の皆さん。メニュー：五目ちらし、吸い物、人参ひひり、刺身、鶏の唐揚げ、ぶどう。



8 森脇治義さんから差し入れ。竹の子沢山。



9 広島県更生保護女性連盟役員手作り料理で端午の節句交流会。交流会を歌で盛り上げる、西地区更生保護女性会ソレイユの皆さん。



10 本年度は女性居室棟増設資金にと指定される多山報恩会からのご寄付。写真右が多山報恩会中丸理事長。



11 西地区更生保護女性会給食活動の皆さん。メニュー：ステーキ、豚汁、マカロニポテトサラダ、ほうれん草の胡麻和え、香の物、デザート



12 広島県保護司会連合会理事会の席上で藤島会長から別館女性居室棟建設資金の寄付目録を託される山田理事長。

ウィズ広島の支援活動を支える、みなさまの会費

ときおり生きるのが嫌になります。今、ときどきウィズに行き、先生や主任に話すのが心の癒しとなっているようです。先生、愚痴を言ってごめんなさい。一人でいると、あれこれと嫌なことを考えて嫌になります。

退所者からの手紙（抜粋）



ウィズ広島ネット謝恩懇話会であいさつする、ウィズ広島賛助会 迫谷会長（2019.1.25）

2018（平成30）年度会員 **160** 会員

会費収入 **182万4**千円（152口）

ウィズ広島への寄付 **160** 万円

2019（平成31）年3月31日現在

2019（平成31）年3月31日現在の会員は160会員、うち個人92会員、保護司会23会員、更生保護女性会23会員、企業・法人22会員です。新規7会員、退会7会員で増減はありませんでした。なお、今年1月1日から5月31日までに会費をお預かりした方々は次のとおりです。

ウィズ広島賛助会会長 **迫谷 富三**

【個人会員】

佐伯 穰、山田勘一、畠山昭雄、嘉屋 進、林 千秋、木本正志、土井壽美子、石森雄一郎、古屋由利子、山本隆照、新宅典明、坪井静枝、本西 隆、鴨下康子、中本忠子、田村美代子、小岩和子、田部恭子、森平悦子、西 民恵、松本則正、木原正壽、加藤順子、岡田 忍、堀江洋治、井町重遠、中川武子、浅尾宰正、浅尾典子、平口さとみ、先小山英夫、繁政秀子、匿名、能美直哉、大田美穂子、大上ヨシエ、寺田 博、竹本恭子、恵木田鶴子、前 京子、藤島秀孝、和泉 眞、菅 和美、相原シゲコ、西川照顕、森実博美、久保加代子、楠本次子、齋 美智江、野村コズエ、河井克行

【企業会員】

（株）山工、（株）本多、（有）共伸家具製作所、境谷工業（株）、広島駅弁当（株）、（有）果青園サワダ、（株）MTGマネジメント、（株）島田鉄工所、（有）森國商会、（株）Fukahori、（株）福正建設、水主町食糧企業組合、山陽空調工業（株）

【更生保護女性会・保護司会会員】

中地区更生保護女性会、竹原・大崎上島地区保護司会、広島安芸地区更生保護女性会、廿日市地区保護司会、呉地区保護司会、西地区保護司会、尾道地区更生保護女性会、山県地区更生保護女性会、尾道地区保護司会、広島佐伯地区保護司会、竹原・大崎上島地区更生保護女性会、安佐南地区更生保護女性会、山県地区保護司会、安佐南地区保護司会

■ウィズ広島役員等

【顧問】浅尾宰正【参与】永田雅紀
【理事】山田勘一（理事長）、山田一夫（副理事長）、畠山昭雄（常務理事）、嘉屋 進（常務理事）、織建末子、中島和雄、和泉 眞、林 千秋、藤島秀孝、古屋由利子
【監事】柳原芳樹、隨 行克之

【評議員】慶徳こすえ、木本正志、井町重遠、山本隆照、繁政秀子、平口さとみ、久保加代子、楠本次子、大野宣江、新宅典明、西田志都枝、内海幸一、石森雄一郎、岸本三悦子、加用雅愛

■ウィズ広島職員

【施設長】稲垣 宏【事務長】小根森敬子
【補導主任】竹岡靖宏、藤原一喜【補導員】田中博敏、沖村和夫【福祉専門員】岡本進佑、鹿嶋知之、松尾能子【薬物専門員】野澤 忍、高杉敬一、田坂典子【事務員】玉井信子【調理主任】吉和栄枝【調理員】江藤民子【非常勤】吉和真奈美

■ウィズ広島賛助会役員

【会長】迫谷富三 【副会長】林 千秋、反田哲顕 【理事】先小山英夫、深堀 勝、宇恵一枝、曾川恵二
【監事】堀江洋治、山本隆照

以 上